

総社市内の空き店舗や空き家を活用した創業を応援する「そうじゃ商人（あきんど）応援事業」。物件を改修して新たに事業を行う創業者に対して、予算の範囲内で補助金を交付しています。

このコーナーでは、制度を活用して市内で創業した事業所を紹介します。

申請先・問い合わせ 魅力発信室 (☎ 0866-92-8308)



そうじゃ商人応援ステッカー
事業利用店に掲示しています

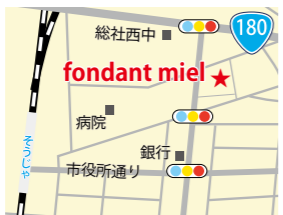
フォンダン ミエル
fondant miel

ほっこり優しい手作りランチとケーキのお店が、2022年1月にオープン。おうちごはんのように飾り過ぎない料理と旬の食材を使った四季折々のケーキが味わえます。民家を改装した温かい雰囲気の店内で、友人同士やご家族での和やかなランチタイムをお過ごしください。予約・問い合わせはLINE公式アカウントから。

住所 中央二丁目 22-25
時間 11:00 ~ 17:00
定休日 日、月、木曜日



LINE公式
アカウント



レコードヤ

今、懐かしのアナログレコードがブームです。レコード、CD、DVDなど音楽ソフトの新譜や中古を取りそろえて、2021年にオープン。邦楽や演歌、ロック、ジャズ、クラシックなどオールジャンルの品ぞろえです。入門用のレコードプレーヤーや交換針も取り扱っています。レコード、CDの買い取りも随時受付中です。

住所 中央一丁目 5-115
時間 11:00 ~ 19:00
定休日 木曜日
電話 0866-90-0500



誰でも どこでも 参加できる 防災訓練

総社市シェイクアウト訓練

日時 2月5日(日)
9:30 ~

場所 家庭や職場など、どこからでも参加できます

登録方法 市ホームページか電話で登録する(参加人数把握のため、登録にご協力ください)

その他 ▼訓練は1人で行うことも可能です。指定時刻以外でも、実施可能な時間に行ってください ▼当日は、市公式LINEで訓練開始のメッセージと訓練内容を案内する音声ガイダンスを送信します

問い合わせ 危機管理室 (☎ 0866-92-8599)



市HP

市公式LINEの登録はこちら



自分の命、みんなの命を守るため、家庭や職場などで訓練に参加してみませんか！

シェイクアウト訓練とは

地震が発生した際に、最初に行うべき3つの安全行動(姿勢を低くする・頭を守る・動かない)を習慣づけるための訓練です。

訓練は、3つの安全行動を1分間行うだけ！



画像提供：日本シェイクアウト提唱会議

◆訓練に合わせて、下記の項目なども確認しておきましょう

- 家具などの転倒防止対策はできているか
- 避難場所や避難経路は把握できているか
- 非常持ち出し品や備蓄物資は備わっているか

みんなの千カラで
もいあげよう！
プレミアム率
70%
そうじゃ
物価
対策
応援券



販売は1月31日(火)まで
まだ購入していない人はお早めに

2月28日(火)までに使ってね

市内の登録店舗で、一人当たり最大7000円お得に買い物ができるプレミアム付商品券の購入期限が近づいています。未購入の方は、ぜひ購入してください。購入の際は、すでに送付している「そうじゃ物価対策応援券購入引換券」と本人確認書類を持参してください。

※すでに2冊購入済みの人は購入できません

【販売について】

価格 1冊5000円(500円券が17枚つづり、8500円分)。購入は1人2冊まで

場所 天満屋ハピータウンリブ総社店、市役所、各出張所、各公民館

問い合わせ 企業誘致商工振興課 (☎ 0866-92-8276)

連載 そうじゃ防災士の会からのメッセージ
第3回 飲食料品の備蓄をしましょう

近年、全国各地で災害が発生しており、総社市でもいつ再び災害が起きるか分かりません。災害が発生すると、停電や断水が起こり物流機能が停止し、飲み物や食品などが手に入りにくくなる可能性があります。緊急時に備え、3日から1週間程度の飲食料品を普段から備蓄しておくことが望ましいといわれています。

まず大切なのは、命を守る水の備えです。必要量は、1人当たり1日3リットル程度。食器洗浄用などの生活用水は別に必要ですので、注意してください。市販の水には5~10年の間長期保存できるものがあり、備えとしては最適です。そのほか、日頃から飲んでいるお茶や清涼飲料水なども用意してお

くと良いでしょう。水以外にも米・麺類・缶詰・レトルト食品など、栄養面も考慮しながら、日頃食べ慣れている自分に合ったものを備蓄することで、災害時でもおいしい食事を取ることができるようでしょう。

備蓄には、普段から食料を少し多めに買い置きしておき、消費した分を買い足していく「ローリングストック」という方法がおすすめです。この方法を用いると、常に一定量の食料が家庭で備蓄されている状態を保つことができます。

大切な人を守るため、普段からの準備がとても大切です。改めて家庭や地域で、もしもへの備えについて考えてみてください。

問い合わせ 危機管理室 (☎ 0866-92-8599)